



株式会社ワイ・エス・エム

代表取締役

八島 哲也 氏



「Y.S.Mは想いを形にして、関わる人の未来を照らし続けます」と話す八島社長

株式会社ワイ・エス・エム



所在地 八潮市二丁目342-1

代表者 代表取締役 八島 哲也 氏

事業内容 LED特注照明、LED導光板

資本金 1,000万円 従業員数 6名

TEL 048-998-3610

<https://k-ysm.co.jp>



今年2月「埼玉グローバル賞」(世界への挑戦部門)を受賞した同社の八島社長に話を伺いました。

★貴社の概要について、教えてください。

八島 1992年に叔父が板金技術を使い、建築金物の設計、製作、販売を行う株式会社ワイ・エス・エムを東京都墨田区に設立しました。2010年に現在の八潮市に移転しましたが、社長の叔父が急死したので、職人として務めていましたが経営のことは何も知らない状況で私が代表に就任しました。祖父が蛍光灯の照明器具を製造するヤシマ照明製作所を経営していて、ワイ・エス・エムと同じ場所と同じ設備で2社同居していました。

その後、レッドオーシャン(競争が激しい既存市場)になりつつある建築金物のノウハウとヤシマ照明製作所の技術を引き継いで、特注照明事業を展開しました。

事業内容は、LED特注照明、LED導光板、建築金物、サイン、その他金属加工、デザイン企画、設計、製造、施工、販売です。

★LED導光板について、教えてください。

八島 光を拡散させて面を均一に光らせるように加工された導光板を使った照明のパイオニアです。導光板を使うと1センチぐらいの厚みで均一に発光させることができます。薄型の面発光パネルで、液晶テレビにも使われている技術です。板金技術と導光板を掛け合わせた提案を得意とし、省電力・超寿命を実現します。最薄5～6ミリで光を放つLED導光板を使った商品を開発しています。

★自社ブランドの立ち上げについて

八島 BtoCの一般の方に喜んでいただける照明をつくりたいとの思いで自社商品、自社ブランドに取り組みました。特注品は年間数回程度で計画を立てにくく、売り上げの波が大きかったので平準化と、エンドユーザーの笑顔を直接見たいという思いから2017年にスタートしました。

★「埼玉グローバル賞」を受賞されましたね

八島 埼玉県産業振興公社の「海外向け商品改良

光をつくりたい人の架け橋になれる会社になる



手をかざすことにより点灯・消灯・調光の操作を可能にした「Moment」を「MAISON&OBJET2025」に出展（右上写真は会場）



今年2月に埼玉グローバル賞を受賞（さいたま市の知事公館にて）

支援事業補助金」を使ってプロダクトデザイナーと共同開発したのが「Moment」です。今年1月に、フランス・パリでの世界最大のインテリア展示会「MAISON&OBJET2025」に出品しました。筒が互い違いにつながり、まるで時が止まったような感覚をもたらすスタンド照明で、ステンレスパイプを使い、空間に置いてあるだけでもオブジェのような存在感があります。こだわった点は光と仕上げです。評判も良く海外の展示会のバイヤーは会社の規模とかではなく、商品だけを見て判断してくるので、中小零細だからこそ、勝負できるところかと思います。良くも悪くも公平な目で商品来判断してくれます。4月から国内で販売予定です。

2017年から「Y.S.M PRODUCTS」という自社ブランドを立ち上げ、2019年から「MAISON&OBJET」に出展し、国内外に販売しています。世界3大デザインアワード「iF DESIGN AWARD 2021」を受賞するなど、これらのことが評価されてか、埼玉県産業振興公社が推薦者として応募した「埼玉グローバル賞」（世界への挑戦部門）を受賞できました。

★今後の展開・抱負は

八島 ブランドコンセプトは「大切なひとときをつくる光」。商品売るということではなく、思いを伝えることを大切にしています。主照明を消して、当社の照明を使うことで、いつもの家族の会話や笑顔が少し増えたり、いつも食べたり飲んだりしている量が少しおいしく感じたり、普段より少し安らげたり。大切なひとときを使う人に寄り添う照明の開発を目指しています。また、「光をつくりたい人の架け橋になれる会社になろう」と、社内でいつも言っています。

会社として少しずつ成長しているのは、海外に展開していったからですので、今後も続けていきたいです。

他社がやらないような手の込んだことをやらないと選んでいただけないので、「照明をつくるなら八潮のワイ・エス・エム」になることが目標です。

B to BとB to Cのバランスを取りながら、会社をブランディングして選ばれる企業を目指しています。

（敬称略）